

2018年度学校評価制度実施報告書（抜粋）

【教育設計に関する分野】

■重点課題名：「教育の質向上」と「国際化（国際的に活躍できる人材の育成）」

(1) 新教育課程の編成

①探究コースの成功とコースから科への検討

- (ア)「探究プロジェクト」設置 …合計10名のプロジェクト委員を設置
- (イ)2年生の教育内容の具現化 …指導担当者（大学教授）を決定し、指導中。
- (ウ)大学との情報交換の手法確立 …2年の探究では生徒自ら教授に対して個別でメール連絡。
- (エ)1年生の教育内容の向上(2年含む)…英語観光ボランティア、起業家育成プログラム、主体性を育む夏合宿、小中学生の学習ボランティアに参加。

○都市大との連携

- *教授陣による講演(1年)、*TAP学生との交流(1年)、*科学体験教室にて2テーマ実施(2年)、*都市大世田谷キャンパスにて発表。(1年)

○来年度、探究コースで初めての卒業生を出すにあたり、進路をどのように導いていくのかが重要な課題である。

②学力定着及び高大接続(大学新入試制度)に対応できる教育課程の検討

- *2019年度の教育課程表（改訂）は完成。
- *文理進学類型の新システム「トベルサ」（土曜日活用システム：選択講座）を導入。実施方法の検討と教育効果の検証が必要。
- *今後2022年度に向けて新学習指導要領を加味した教育課程の検討。

(2) 教員研修の充実

①教員研修…長野県総合教育センター研修等、法人支援事業において

- (ア)各教科研修
- (イ)9つのプロジェクトテーマに沿った研修
 - *法人支援によって、例年以上に多くの教員が研修に参加。
 - *教科研修では、専任16名（延べ26回）。プロジェクト研修では、専任23名（延べ43回）。
 - *各教科、各プロジェクトから全体への研修結果発信が不足。情報共有の方法(冊子化、報告会)について検討が必要。

(3) ICT教育の充実 新教務システムの導入

①ICT活用について

- (ア)Classiとロイロノート活用推進…Classi研修2回、ロイロノート活用研修1回実施
- (イ)各教室への視聴覚機材の導入…電子黒板全教室設置。全教職員研修完了。
- (ウ)ICTの教科別研修実施…5教科8名が実施。全教科で教科内研修を実施。

②新教務システム導入

- (ア)4月業者選定と導入計画 (イ)1学期活用起動
 - *2019年度から実施予定。関連職員の研修を実施。
 - *2019年度1学期よりシステム起動。それに関する全体研修会および運用規定の作成。

■重点課題名：生徒等の付加価値向上と満足度向上

(1) 不登校生徒対応

- * 学年主導での面談実施
- * 担任の生徒指導体制
- * クラス替えによる環境不適應検討
- * 入学時の不登校生の状況確認と、LHR,フレッシュマンワークの内容を学年と共有。
- * カンセラー、外部機関との連携

(2) 資格取得率の向上

- * 資格取得率を全校生徒数に対するのべ数として 25%から 30%へ
- * 文理進学類型 2 年「自己探求」の科目利用
- * 外部講師による講演会「資格の重要性」講話を実施し、生徒のモチベーションアップ

(3) 生徒・保護者の満足度向上

①生徒活動の様子を発信

- * 中学校に向けて、探究コースの活動など、魅力ある授業内容を発信

②アンケート

- * 新入生・新入生保護者・卒業生・授業アンケート、地区 PTA・PTA 行事から意見集約

③教員の指導体制

- * 校内メールを活用し、会議時間の短縮を実施。
- * 来年度に向けて教育課程を改訂し、指導時間の確保を行った。
- * 働き方改革と絡めて、時間確保をさらにすすめる必要がある。

【進路指導に関する分野】

■重点課題名：「教育の質向上」と「国際化（国際的に活躍できる人材の育成）」

(1) 教員研修の充実

①授業づくり教科研修

- * 授業の質向上プロジェクトで、各教科の授業計画を確認、組織で作り上げた授業を展開。
- * 授業企画会議を実施し、ロードマップの改善、授業進捗の見直しを実施。
- * 模試成績データや評定平均値から面談を通して組織的に学習させる取り組み体制を強化。
- * 学年別と職員全体への外部模試分析報告会を実施。
- * 朝テスト（15 分）の実施方法や内容を見直す。
- * 中下位層に対して、「わかる授業」「生徒に成就感のある学習」に向け検討し実施。

(2) 国際的に活躍できる人材の育成

①下記企画の継続実施とプログラム内容の改善

- * イングリッシュシャワー（20 名／37 名目標）、イングリッシュキャンプ（15 名／15 名目標）、フィリピン語学研修（31 名／30 名目標）、留学生との交流（ベトナム人 2 名を文化祭に招待し交流）

②実用英語技能検定合格目標

- * 延べ人数 280 名が英検を受験。3 級（23 名／35 名目標）、準 2 級（41 名／50 名目標）、2 級（30 名／20 名目標）が合格。
- * TOEIC Bridge 受験者数は 31 名。
- * 4 技能試験（GTEC）を 2 回実施し、20 名受験。

③オンライン英会話の充実

- * 「オンライン英会話」生徒 81 名が登録。探究コースは授業内、他コースは放課後に実施。
- * 4 技能試験を意識し、英作文を導入し添削指導を実施。

④国際教育のさまざまな施策

- * 文化祭での「国際通り」企画を実施。都市大講師と等々力高校講師による講演会を実施。
- * 留学生の受け入れ
アジア高校生架け橋プロジェクト等で 15 名（インドネシア・オーストラリア・アメリカ・マレーシア・カナダ・韓国・中国 9）受入。
- * 姉妹校提携・交流活動…中国上海市甘泉外国語学校と協定校締結。7 月に 29 名が来校し交流。フィリピン中央大学付属高校と協定校締結。カナダの高校 3 校を視察。協定校締結については、検討中。
- * 学校視察・研修…留学生受け入れのため城西高校（東京都）を視察。音読の英語科研修会を実施。
- * スピーチ・レシテーションコンテスト…全国大会決勝に生徒 1 名が参加。

■重点課題名：生徒等の付加価値向上と満足度向上

(1) 進学実績

①合格実績

- * 国公立大学合格：17 名（内浪人 4 名）[北海道大学 1 名・お茶の水女子大学 1 名・信州大学 8 名（内浪人 4 名）・富山大学 1 名・新潟県立大 1 名・長野大学 1 名など]
- * 東京都市大学：17 名
- * 私立大学：96 名（現役のみ）[早稲田大学 1 名・東京理科大学 1 名・中央大学 1 名・法政大学 1 名（浪人）・立命館大学 1 名（浪人）・駒澤大学 1 名など]
- * 予備校講座等の学力養成や丁寧な進路面談・個別指導等の充実と模試分析に基づく出願指導により、信州大学や旧帝大を含めた国公立大学の 2 桁合格及び早慶上理大等の難関私大で合格者数を大幅に伸ばした。

②センター試験と受験学力の養成

- * センター試験出願者 122 名
- * 生徒一人ひとりに月 1 回の生徒面談。
- * センター試験受験対策を 11 月から実施。
- * 学習支援センターで、個別指導・放課後講座・授業課題・学生チューターを充実。
- * TMノートに変えて Classi を導入。学習時間・ポートフォリオ等の機能の活用が課題。
- * 職員全員で指導できるように、Classi や模試結果、面談内容などの情報の共有化が必要。

(2) キャリアセンターの充実とキャリア教育の完成

○就職内定率 100%

- * 就職希望者 35 名全員が内定（100%）。
- * ヤングハローワーク・商工会議所との連携。
- * 就職指導の充実として、「就職支援員の設置の継続」「企業訪問」「企業見学・インターンシップ」を継続。
- * 進学した卒業生に情報提供するためのネットワークをさらに研究する必要がある。

【生徒活動に関する分野】

■重点課題名：生徒活動の活性化

(1) 部活動の活性化と強化部の拡大

①加入率の向上

*部活動加入率は3学年平均で67.6%。1年生は75.9%で昨年よりも上昇しているが2.3年生が50%代と低い数値であった。上級学年で減少する原因を調査する必要がある。

②大会成績

*全国大会出場

団体種目：サッカー、女子バレーボール、原動機部、

個人種目：水泳、なぎなた、スピードスケート、バレエ、英語

*県大会出場

団体種目：サッカー、女子バレーボール、野球、女子ソフトテニス、男子ソフトテニス
ラグビー・吹奏楽（この2つは地区予選なしで県大会出場）

個人種目：陸上、卓球、バドミントン、水泳、空手、柔道、なぎなた、スピードスケート

③生徒活動部内に「クラブ活動活性化プロジェクト」を設置。

*他校の取り組みを参考に、来年度から放課後の時間と土曜日を有効活用できる時間割とカリキュラムに変更。

④「クラブ活動の日」

*毎週火曜日に設定し、この日は生徒はもちろん、顧問教員も部活動指導を最優先とした。

(2) 生徒会活動の活性化

①生徒会本部・各委員会で生徒が主体となる企画の運営

②文化祭企画の充実

*トレーをリサイクルするための回収システムを本校の文化祭に取り入れた（使用済トレーのうち約91%を回収）。

③ボランティア活動の推進…通学路の清掃、植栽活動、通学路花植え

*「花いっぱい運動」（5/28 植栽実施、その後の水やりを秋まで継続）

*「田川シバザクラ植栽活動」（第1回 6/9、第2回 10月に実施）

*「クリークキャンペーン」（9/13 実施）

*来年度行われる「信州花フェスタ 2019」の準備としてチューリップ球根植付作業(11/29 実施)

(3) 生徒指導数の減少

①制服着用・整容指導（服装頭髪検査）

*指導数は減少。

②挨拶の習慣化と授業規律の改善と向上

*挨拶は駅前、校門での声掛けにより運動部を中心に広がっている。

③人権意識の向上…いじめアンケート調査実施

*いじめアンケートを3回（各学期に1回）実施。心配な回答については担任が面談を行い、いじめに発展することはなかった。